

ひまわり新聞 5



全国の里親さんも訪れた大越町牧野ひまわり祭

きずな 3万本の絆のひまわりの中で お花見会開催!

二〇一三年八月十五日、全千五百戸で「絆きずなのひまわり」を栽培している福島県大越町の牧野地区で、夏のお花見会が行われました。毎年恒例となっている牧野ひまわりフェスティバルと同時開催で、全国の皆さんからの里帰りの種から育った三万本のひまわりが咲き誇るなか、参加者が交流を深めました。

ガールスカウト千葉県北総地区の皆さんをはじめ、静岡、宮城から里親さんも参加。福島県内からは、大越町できずなの種まき婚前式を行った福島市の石山さんご夫妻をはじめ、リステル猪苗代ハーブ園などプロジェクトに関わっている個人や団体が集結しました。

牧野ひまわりフェスティバルでは、はじめに家庭や畑で育てたひまわりのコンクールの表彰式の後、田村市の富塚宥暲市長をはじめとする来賓の方々が、ひまわりの街・大越町への今後の期待と全国の里親さんへの感謝の言葉を伝えました。

ガールスカウト千葉県北総地区の皆さんからプロジェクトへの取り組みの発表とともに、歌や踊りの披露もあり、参加者が楽しいひと時を過ごしました。

NPO法人 チームふくしま
福島ひまわり里親プロジェクト

TEL.024-529-5153 HP:<http://www.sunflower-fukushima.com/>

応援メッセージ



メルマガ登録



空メール送信で登録できます

F u k u s h i m a s u n f l o w e r m a p

ふくしま ひまわりマップ

1	牧野ひまわり会・大越町まちづくり協議会	大越町	福島市の石山夫婦が婚前式でまいたひまわりなど3万本のきずなのひまわりが咲き誇った大越町。牧野ひまわり会がきっかけとなった町1,500戸でのひまわり栽培も行われ、街中がひまわりでいっぱいになりました。
2	福島交通株式会社	福島市	福島交通飯坂電車の全12駅と、バスの営業所でひまわりを栽培。通勤・通学する福島市民を楽しませました。また、駅を利用してメッセージ展も開かれ、福島に勇気を伝え続けています。
3	まるせい果樹園	福島市	ひまわりロードや、室内から見渡せるひまわり畑など、果樹園内に沢山のひまわりが咲き誇りました。母と子、親子で世話をし、時期をずらして育てることで2カ月の間、全国の里親さんの想いを咲かせました。
4	飯坂温泉観光協会	福島市	市政だよりと一緒に福島市飯坂町の全7,000世帯にきずなの種を配布。吉川屋などの旅館や、福島交通の飯坂温泉駅でもひまわりを栽培。黄色い花が夏の日差しに輝く観光地となりました。
5	猪苗代養護学校	猪苗代町	「いなっこひまわり大作戦」として地域の郵便局での種の配布や福祉施設での栽培など、学校を中心として地域でひまわりを育てました。種まきには猪苗代ハーブ園のスタッフも参加し、子どもたちとひまわりを育てました。
6	猪苗代ハーブ園	猪苗代町	大人の背丈を越すひまわりで迷路を作成。全国から沢山の子どもたちが訪れ、ひまわりに囲まれた中で沢山の笑顔が生まれました。また、猪苗代養護学校の種まきや、大越町のひまわり祭りなど、県内のひまわり団体とも交流を深めました。
7	福島商業高校	福島市	
8	福島カトリック幼稚園	福島市	
9	愛隣幼稚園	福島市	
10	あぶくま養護学校	郡山市	
11	JICA二本松	二本松市	
12	飯坂恵泉幼稚園	福島市	
13	ケアタウンひまわり	福島市	
14	布引高原 (福島民報スマイルとうほくプロジェクト)	郡山市	
15	福島県立ろう学校	郡山市	
16	株式会社柏屋	郡山市	
17	岩瀬農業高校	鏡石町	
18	裏磐梯観光協会	北塩原村	
19	NPO法人 市民活動支援組織NIVO	会津坂下町	
20	JR喜多方駅	喜多方市	
21	柳津観光協会	柳津町	

(敬称略)



20 JR喜多方駅



19 NPO法人
市民活動支援組織NIVO



21 柳津観光協会



10 あぶくま養護学校



11 JICA二本松



2 福島交通株式会社



3 まるせい果樹園



4 飯坂温泉観光協会



18 裏磐梯観光協会



19



5 猪苗代養護学校



15 福島県立ろう学校



14 布引高原(福島民報)



12 飯坂泉恵幼稚園



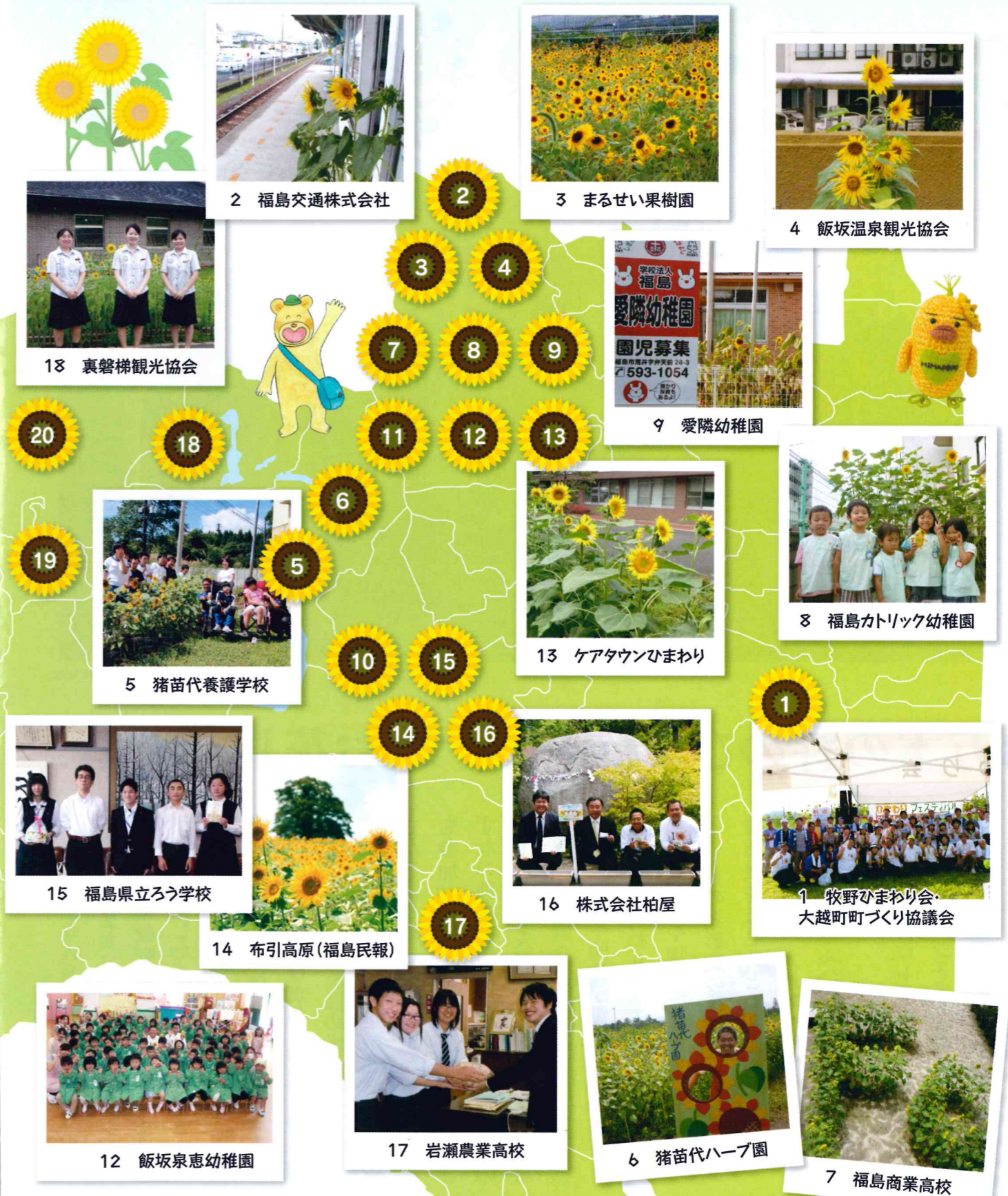
17 岩瀬農業高校



6 猪苗代ハーブ園



7 福島商業高校



今年の夏も、県内各地で
里親さんのひまわりが咲き誇りました!

(開花場所約16,000ヶ所のうち一部を紹介させていただきます。)





平和記念式典献花

平和と復興への願いを込めて ひまわりを献花しました

広島に原爆が投下されてから六十八年を迎えた二〇一三年八月六日、広島市の平和記念公園で開催された平和祈念式典に、昨年引き続き、プロジェクト理事長の半田真仁が出席し、平和への祈りを捧げました。

広島に原爆が投下されてから六十八年を迎えた二〇一三年八月六日、広島市の平和記念公園で開催された平和祈念式典に、昨年引き続き、プロジェクト理事長の半田真仁が出席し、平和への祈りを捧げました。

全国各地でたくさんの方が福島ひまわり里親プロジェクトに参加 くださいました。里親のみなさんに心から感謝申し上げます



毎日Facebookひまわり通信を発行。ひまわり畑での成長の感動を全世界に発信。山形でこの夏たくさんのひまわりの花々が輝きました。



石川県 金沢美術工芸大学

山形県 山形里親になっちゃおうプロジェクト



ガールスカウト千葉県第98団と一緒にひまわりステーションを開設。ガールスカウトのメンバーが「ひまわり大使」として地元のイベントを通じて支援の輪を広げています。



ひまわり畑を作って、宝探しやお花見、ひまわり紙芝居の読み聞かせなどを開催。たくさんの方が集って地域のきずなを深めました。

島根県 島根の未来プロジェクト

福井県 鯖江市立立待小学校

長野県 長野おやじの会
坂園芸高校

千葉県 社会福祉法人九十九里ホーム

山口県 光市立島田中学校

広島県 福島ひまわり里親プロジェクトを応援する会
広島修道大学Rapport
海田町ひまわりの会

京都府 ぞみ鍼灸整骨院
長岡市立長岡第四中学校

東京都 株式会社バソナ
株式会社しまや出版
東京都昭島市立多摩辺中学校ボランティア部

大分県 竹馬会

徳島県 徳島県物産館

静岡県 静岡県商工会
駿河～S.T.A.～
株式会社あした葉



今年も佐知地区をあげてひまわりを育てた竹馬会。ひまわり甲子園で交流した福島の大越町牧野ひまわり会に教えてもらったひまわりの杖を竹馬会でも作成しました。



地域の学校や幼稚園などに働きかけ、ひまわりの輪を広げました。宇治市の広野中学校でも取り組み、福島にある同名の広野中学校との交流を生んでいます。



写真を頂いた方、福島に来られた方の一部を掲載しています (敬称略)

編集後記

この新聞の折り込み作業も、種の袋詰めをしていただいている二本松市の障がい者通所施設「和（なごみ）」の皆さんにお願いしています。和の皆さんは、一枚一枚手作業で折った新聞が、全国の里親さんや福島皆さんの元に届き、読んで頂けるのを楽しみにしているそうです。

お読みいただき、本当にありがとうございます！

千葉県北総地区の ガールスカウトから 手紙が届きました

「福島に行きたい」
「私たちが送ったひまわりが咲いているところを見たい」
そんな願いがようやくかなって、私たちはこの八月十五、十六日に大越町を訪問することができました。
私たちは松戸市や千葉ニュータウン地域で活動しています。福島ひまわり里親プロジェクトに参加して三年目。自分たちが里親としてひまわりを育てるだけでなく、千葉県の人たちにも広くこのプロジェクトを知ってほしいと思い、これま



里親のガールスカウト千葉県北総地区の皆さんはバスツアーに参加

でも県立花の丘公園で「ひまわりラリー」をしたり、松戸市の植樹祭でひまわりの種を市民に配ったりしてきました。また、千葉県だけでなく全国のガールスカウトにも協力を呼びかけるうちに、「福島に行ってみよう」「福島の方たちと交流してみよう」と思ふようになりました。
今回の訪問のために事前研修をしました。福島について各々が興味あるテーマ（福島のおすすめスポットや名産物、歴史、福島出身の有名人、ゆるキャラなど）

を選んで『ひまわり新聞』を発行したりしました。

当日、大越町に行く前に高柴デコ屋敷で福島の復興を祈願して「豆だるま」を作りました。打ち合わせたわけではないのに、だるまにはみんなどこかにひまわりの花がデザインされていました。

いよいよ大越町に到着してお祭り会場に歩いて行った時、最初に目に入ったのが何万本ものひまわりの花でした。2mを超え大輪のひまわりたちが、私たちを歓迎してくれているかのようでした。山の斜面を利用して作られた壮大な流しそうめんを堪能した後は、ステージで私たちの活動紹介をしたり、ガールスカウトの楽しい歌を披露したりしました。町の皆さんも一緒に歌ったり踊ったりしてくださって、とても楽しい時間でした。また、復興応援のメッセージを添えたミサンガを大越町のみなさんにお贈りした時に、代表で受け取ってくださった佐久間さんが、スカウトにミサンガをつけてもらっている嬉しそうな顔が心に残っています。

夜には盆踊りにも仲間入りさせていただきました。盆踊りは初めてというスカウトもいましたが、みなさんが熱心に教えてくださり、身ぶり手ぶりを真似しているうちに、気がつく楽しい踊りの輪の中でずっと踊り続けていました。

今回、佐久間さんご夫妻やご家族のみなさんに温かく迎えていただき、トマトの朝採りを体験させていただいたり、搾

りたての牛乳をごちそうになったりして大越町のみなさんから文字通り町をあげてのおもてなしを受けて、私たちは感謝を表す言葉がみつかりません。復興応援のために大越町を訪れたはずの私たちが、思いがけず大きなプレゼントをいただいたように思います。畑のひまわりのような笑顔の大越町のみなさんと、私たちガールスカウトがつながることができたということがなによりうれしいことでした。人と人がつながることから新しい力が生まれていくのだと実感しました。

ひまわりで繋がったご縁を大切に、これからも福島の応援を続けていきたいと思えます。

